

様式 1

平成 17 年度茨城大学社会連携支援経費申請書

茨城大学長 殿

申請者 所属 農学部・附属農場  
代表者氏名 小松崎将一

下記の本年度の社会連携支援経費を申請いたします。

1. プロジェクト名 (40 字以内)

農学部附属農場を活用した園芸療法プログラムの開発と実践

2. プロジェクトの連携先と連携内容 (別紙可)

連携先：阿見町の病院・デイケア施設など

【連携の方法】

本プロジェクトでは、阿見町の病院・デイケア施設などで治療をうけている障害者に対し、本学附属農場 園芸療法圃場 (500 m<sup>2</sup>) において、園芸療法 (horticulture therapy) を実施する。本プロジェクトチームにおいては、本学農学部では園芸療法にかかわる栽培計画および栽培方法の技術的指導と圃場管理を行うものであり、これらの取り組みは、農学とリハビリテーション医療とが連携し地域貢献を行う先駆的なものである。

【連携の内容】

本プロジェクトで対象としている園芸療法は、作物栽培を通じて障害者に季節感や生命感などの「感性を呼び起こす」作用が注目されるなど、他の作業療法に比べて地域社会の中での生活感獲得に極めて効果的であると期待されている。

そこで、本プロジェクトでは、附属農場の園芸療法圃場において、障害者が 20 数品目の野菜および 10 数種類の花弁栽培に取り組み、これらの技術指導を行う。

### 【計画】

本プロジェクトはすでに実施中である。現在、茨城大学農学部附属農場に園芸療法圃場を設置し、毎週月曜日午前 10 時 30 分から 12 時まで園芸活動の指導および圃場管理を行っている。現状での栽培にかかわる費用については特段の措置がない。そのため種苗については他の研究などの残余で対応するなど苦慮している。そこで、本プロジェクトにより、園芸療法に適した育苗ハウスを整備し、栽培にかかわる資材と管理労力の確保および先進的園芸療法実施状況を把握することで、本学の有する農学に関する知識と経験を医療福祉の分野へ十分に発揮する園芸療法プログラムを開発する。

### 【期待される成果】

この取り組みは、農学とリハビリテーション医療とが連携し、地域の医療プログラムに地域貢献するという点で、極めてユニークであり、農業の福祉的活用という点で、先駆的な取り組みである。これにより農学部での地域貢献活動に新たな手法を提案するなど今後の発展が期待でき、地域社会での非常に高い関心が得られることが予想される。

申請分野 1 地域の教育力 2 地域環境形成、自治体との連携 3 産官学連携 4 学術文化 5 その他の地域との連携

### 3. 本プロジェクトにかかわるこれまでの経緯・実績（別紙可）

阿見町内のデイケア施設では、病院内の裏庭などを活用して園芸療法に取り組んできたが、栽培品目が限られかつ十分な農学の知識がないために栽培が失敗に終わるなどその実践に苦慮していた。そこで、本学附属農場を活用して園芸療法を実践するために、園芸療法活動への具体的な実施方法や障害者への対応の仕方などの農学とリハビリテーション医療学に関わる勉強会を病院関係者とともに実施してきた。それらの共通理解を踏まえて、附属農場の圃場 500 m<sup>2</sup> を活用した、園芸療法実施プログラムを策定した。

また、これらの取り組みは学際的な地域貢献の実践であり、学術的にも極めてユニークなものであることから、効果的な園芸療法のプログラム開発について医療の立場からあるいは農学の立場から共同して研究していくことが確認された。具体的には、栽培技術的な側面からの技術指導と栽培計画管理を農学部側が行うこととなった。

現在、毎週月曜日午前 10 時 30 分から 12 時まで実施しており、毎週 15 名以上の障害者が参加し、極めて好評である。これらの障害者が圃場においてトウモロコシ、インゲンマメ、ダイズ、綿花、トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン、キュウリ、ハツカダイコン、ダイコン、コマツナ、チンゲンサイ、ホウレンソウ、ネギ、ジャガイモ、サツマイモ、サトイモ、オクラ、ニガウリ、ニンジン、キャベツ、ハクサイ、ブロッコリ、トウガラシ、ミズナなどの野菜を栽培している。また、グラジオラス、チューリップ、日日草、マリーゴールド、ペチュニア、インパチェンス、ヒマワリ、サルビアなどの花卉栽培を行っている。

4. プロジェクト参加者（含む申請者）

氏名	学部・学科等	職名	分担内容
小松崎将一	農学部・附属農場	助教授	プロジェクト代表者・園芸療法の実施・管理および評価
井上 栄一	農学部・生物生産科学科	助教授	野菜・花卉を活用した園芸療法プログラムの開発と実践
清水 浩	農学部・地域環境科学科	助教授	植物工場を活用した園芸療法プログラムの開発と実践
池田 正則	農学部・附属農場	専門職員	園芸療法における農作業指導